

指標 3.7.1

指標名、ターゲット及びゴール

指標 3.7.1 近代的手法によって、家族計画についての自らの要望が満たされている出産可能年齢（15～49歳）にある女性の割合

ターゲット 3.7 2030年までに、家族計画、情報・教育及び性と生殖に関する健康の国家戦略・計画への組み入れを含む、性と生殖に関する保健サービスを全ての人々が利用できるようにする。

ゴール 3 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。

定義及び根拠

- 定義
結婚または婚約している15–49歳の妊娠可能年齢女性で家族計画が必要な人のうち、近代的な方法で家族計画ができている人の割合。
- 概念
近代的な方法には、女性及び男性の不妊手術、子宮内避妊具、インプラント、注射、経口避妊薬、男性及び女性のコンドーム、バリア法、LAM、緊急避妊、その他個々には報告されていない近代的手法などが含まれる。
- 根拠及び解釈
当該定義の指標については、指標3.7.1のモニタリングに使われるものであるため。（次のURLの1ページ目）
https://www.un.org/en/development/desa/population/publications/dataset/contraception/wcu2019/UNPD_WCU2019_Methodology.pdf

データソース及び収集方法

本邦では、このインディケータに対応するデータを取得していない。このため、国連統計部の公表するグローバルメタデータに記載されている推定値のリンク先（国連経済社会局（DESA）人口部の年次推計値）の本邦の数値を引用した。

具体的には、Estimates and Projections of Family Planning Indicators 2018の中で示されている Demand for family planning satisfied by any modern method (Percentage)を採用した。

<https://www.un.org/en/development/desa/population/theme/family->

[planning/index.asp](https://www.un.org/en/development/desa/population/theme/family-planning/index.asp)

算出方法及びその他の方法論的考察

○ 算出方法

結婚または婚約している 15–49 歳の妊娠可能年齢女性のうち近代的な方法で家族計画している人数 / 結婚または婚約している 15–49 歳の妊娠可能年齢女性で家族計画を必要としている人数

○ コメントと限界

本邦では、このインディケーターに対応するデータを取得していないため、国連統計部の公表するグローバルメタデータに記載されている国連経済社会局人口部の推計値を引用した。

データの詳細集計

なし

参考

Estimates and Projections of Family Planning Indicators 2018 :
<https://www.un.org/en/development/desa/population/theme/family-planning/index.asp>

データ提供府省

こども家庭庁

関連政策府省

こども家庭庁

担当国際機関

国連経済社会局人口部